

うれしい おいしい みんなしあわせ信州

～ともに育てる、日本の未来を耕す農福連携～



©長野県アルクマ

令和7年（2025年）10月23日
健康福祉部 障がい者支援課 藤木、大井、春原
農政部 農村振興課 白石、中田、黒澤
電話：026-235-7105（直通）
026-232-0111（代表）内線2405
FAX：026-234-2369
E-mail: shogai-shien@pref.nagano.lg.jp

何故、農業と福祉を連携させるのか
「共生社会」をどう実現するのか

農福連携が持つ
社会的意義
「食を通じた価値の共有」
「うれしい」気持ち「おいしい」体験「しあわせ」なつながり

農と福の連携は
「支援」ではなく
「共に生きる」取組

【長野県が農福連携を推し進めていくための3つのキーメッセージ】

農家にとっての
「作り続けられてよかった」

うれしい

多様な方が共に働くことで、農業の現場に新たな力と温かいつながりが生まれます。人手不足の解消だけでなく、信頼関係が築かれます。



障がいのある方にとっての
「働いて感謝されてよかった」

うれしい

自然の中で体を動かし、作物を育てる体験は、達成感と自己肯定感を育みます。「認められた」という実感が、社会とのつながりを深めてくれます。

しあわせ

みんなにとっての
「また買いたい」

おいしい

農福連携から生まれた農産物は、背景にある想いや努力が詰まった“物語のある食べもの”。食卓に笑顔と共生の心を届けてくれます。生産者と消費者が食を通じてこの取組に参加し、共生社会の一員となることができます。

ノウフク

【支援から共生へ】

農福連携は、農業という生産活動を通じて、農業や農村の担い手と、障がい者や高齢者、生きづらさを抱えている人たち等が、「支える側」と「支えられる側」という従来の関係性を超え、地域で共生する社会の実現を目指しています



©長野県アルクマ

ノウフク

NOUGYOU ★ FUKUSHI



うれしい、おいしい、みんなしあわせ信州 ～ともに育てる、日本の未来を耕す農福連携～



「ノウフク」の
詳しい内容や、
イベントなどの
情報は
こちらから

農福連携 とは？

「農福連携」とは、農業と福祉が連携し、障がい者の農業分野での活躍を通じて、農業経営の発展とともに、障がい者の自信や生きがいを創出し、社会参画を実現していく取組です。

この取組によって、障がい者の働く場の確保や賃金・工賃の向上に加え、担い手不足や高齢化が進む農業分野において、新たな働き手の確保や生産の拡大にもつながることが期待されています。

ノウフクシンポジウム

日時 11/29 13:00～15:00 同時開催
会場 イオンモール須坂(イオンシネマ) イオンモール須坂内での「ノウフクマルシェ」も開催!



長野県町村会
「収穫祭めぐりin松本市」
日時 10/4
会場 アイシティ21
とよおかまつり
(豊丘村)
日時 11/9
会場 豊丘村

しあわせバイ信州運動
「県産品フェア」
日時 10/11・12
会場 ホワイトリング住宅フェア内
軽井沢グランフェスタ
2025秋
日時 11/1・2
会場 軽井沢発地市庭

県外
長野県町村会
「収穫祭めぐりin東京」
日時 9/27
会場 御徒町駅前パンダ公園
軽井沢発地市庭



デジタルスタンプキャンペーン

開 催 中

開催期間

9/27 土～
12/31 水



スタンプは
1個から
応募可能!

QRコードから
スタンプを集めると
ノウフクで作った
魅力的な景品が当たる!

ノウフク（農福連携）って何？

農業と福祉の分野が手を取り合うことで、農家さんにとって手の確保や生産性の向上、障がいのある方には就労機会や収入の確保につながる取組です。



事務局：長野県